

放送伝道の灯をかかげ続けて

放送伝道の灯をかかげ続けて

主の御名を賛美いたします。

日頃、近放伝を愛し、テレビとラジオとインターネットでの福音に祈りを捧げてくださっておられる、視聴者の皆さま、感謝いたします。

●近放伝の存続の危機

近放伝は皆さまの大切な献金で運営されています。もうすでにご存じかと思いますが、近年、運営資金が不足し、テレビやラジオの放送料が未払いになることが多く、資金面で苦慮しているのが現状です。このままでは、放送をストップせざるを得ない状況に追い込まれる可能性もございます。事務局費以外は、ボランティアで行っています。コロナ禍の中で、逆に主は知恵を与えてくださって、インターネット会議を導入し、関係者の交通費も削減できました。しかし、支出削減はほぼ限界に来ております。今年度、このままで、献金の収入が減少すれば、赤字が毎月40万～50万になっており、年間300万とも400万とも膨れ上がる可能性があります。それは、つまり放送を中止せざるを得なくなる、福音を伝えるツールがひとつ減ることです。私たちは、そうはしたくありません、と主に祈っております。放送伝道は、主の導きだと信じるからであります。

●これまで以上のアピール

今、コロナ禍の中にあり、皆さまの教会に出向いてアピールすることもできませんが、コロナ禍が収束すれば、もっと皆さまの声に直接耳を傾け、皆さまの希望や期待を反映するような番組作りをさせていただく所存です。すでに、近放伝が独自に制作しています ABC ラジオの「福音の光」(土日放送)は、少しずつですが、変化してきていますし、もうリスナーの方はお気づきだと思います。

●お祈りと献金で支えてください

どうか、これからの近放伝に期待してください。そして、お一人でも多くの方に、福音が伝えられますよう、ぜひとも、近放伝を資金の面からも支えてください。視聴者の方々お一人お一人の、お祈りと献金に期待いたします。下記が振込先となります。よろしく願いいたします。

主は愛なり。

近畿福音放送伝道協力会 実行委員会

2020年6月恵日

(教会の掲示板に張っていただければ幸いです。)